

4-5 宗教学

研究・教育活動の概要と特色

大正13年(1924)7月に宗教学講座として開設された宗教学専攻分野の現代の特色は、昭和13年(1938)に就任した二代教授の石津照璽によりその方向付けがなされたものと言える。それは人間存在の基礎的場面における宗教性や宗教の根拠の追究を、哲学的・思想的な人文科学的宗教研究と、フィールドワークに基づく社会学的・人類学的・民俗学的な社会科学的宗教研究との統合の中に志向するところにあった。宗教現象を単に“個”の内面の問題としてだけ捉えるのではなく、また“群”としての集団の問題としてだけ捉えるのではなく、その両側面に目を配りながら包括することを志向する研究視角は、その後の伝統として本専攻分野の教育システムの中に取り入れられており、ここから巣立った研究者の中にそれぞれの個性を活かした形に花開いている。

研究生・聴講生を含め、本講座にこれまで在籍した学生・院生の総数は300名を越えている。現在の学部定員は一学年10名であるが、近年は定員を上回る進学希望者が継続しており、全員の希望に応じられない状態が続いている。大学院に関しては、本学からの進学者のみならず、国内外の大学を卒業した日本人や海外からの留学生、さらには教員や脚本家、医師などの社会人を経た社会人など、実に多様なメンバーで構成されている。

I 組織

1 教員数(2008年4月現在)

教授：1

准教授：2

助教：1

教授：鈴木岩弓

准教授：木村敏明・山田仁史

助教：滝澤克彦

2 在学生数(2008年4月現在)

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生	科目等履修生
34	0	11	8	1	0

3 修了生・卒業生数（2004～2008年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程前期修了者	大学院博士課程後期修了者 (満期退学者)	博士学位授与者
04	7	5	(1)	0
05	10	3	1(1)	3
06	9	6	(1)	0
07	11	3	3(1)	3
08	13	5	2	
計	50	22	6(4)	6

II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2004～2008年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
04	0	0	0
05	1	2	3
06	0	0	0
07	3	0	3
08			
計	4	2	6

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

待井扶美子、2005年度、『我が国クリスチャンの<弔い>にみるキリスト教の民間受容』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・松本宣郎、助教授・木村敏明、講師・山田仁史

山本春樹、2005年度、『バタックの宗教』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・嶋陸奥彦、助教授・木村敏明

SITUMORANG, Hamzon、2005年度、『外来宗教の受容に関する比較研究—バタックと日本におけるクリスチャンの死者儀礼をめぐって—』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・嶋陸奥彦、助教授・木村敏明

諸岡了介、2007年度、『世俗化論の構想力—宗教社会学の現代的可能性—』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤嘉倫、講師・山田仁史

Andrews, Dale Kenneth、2007 年度、『District “N” of H”City :A Cultural and Religious Survey』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・嶋陸奥彦、准教授・木村敏明、講師・山田仁史

滝澤克彦、2007 年度、『モンゴルにおける「宗教」のポスト社会主義—キリスト教福音派の台頭をめぐる—』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、講師・山田仁史、教授・岡洋樹（東北アジア研究センター）

2 大学院生等による論文発表

2- 1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
04	3	2	0	0	5
05	3	6	0	0	9
06	14	2	0	0	16
07	14	3	1	1	19
08	3	2	0	1	6
計	37	15	1	2	55

2- 2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
04	5	11	6	0	22
05	0	19	5	0	24
06	4	23	3	0	30
07	0	23	4	1	28
08	1	25	4	0	30
計	10	101	22	1	134

2- 3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

オリオン・クラウタウ「近世仏教墮落論の近代的形成—記憶と忘却の明治仏教をめぐる—」『宗教研究』第 354 号、2007 年

佐藤慎太郎「M. エリアーデにおける/homo religiosus/観とその射程」『文化』71

卷(1・2)、2007年9月

相澤里沙「オランダにおける宗教学と民族学—『アニミズム』に表れる差異—」

『論集』第34号、2007年12月

阿部友紀「現代祈祷寺院における仏教行事の成立」『論集』第34号、2007年12月

大村哲夫「継承される宗教経験「悟り」—伝光録における「悟」から—」『論集』第34号、2007年12月

小田島建己「〈死者の結婚〉のイメージと“写真”—「ムカサリ絵馬」の事例にみる—」『論集』第34号、2007年12月

澤井真「ジェイムズの『プラグマティズム』概念とその理論的展開—「神」の探究と宗教的経験—」『論集』第34号、2007年12月

栗田英彦「四国遍路の展開における講集団の関わり」『東北宗教学』第3号、2007年12月

斎藤喬「宗教体験と感情教育」『現代のエスプリ』494号(感情教育—臨床・発達・教育・文芸の世界にみる感情と醇化)、至文堂、2008年8月

滝澤克彦「越境できなかった宗教—社会主義以前のモンゴルにおけるキリスト教伝道—」『論集』第34号、印度学宗教学会、2007年

(2) 口頭発表

遠藤高志「明治期日本における「迷信」・「妄信」概念の展開—『東京人類学会雑誌』を題材に—」印度学宗教学会第50回学術大会、関西大学、2007年6月10日

森恵実「福地源一郎における「無宗教」概念」印度学宗教学会第51回学術大会、関西大学、2007年6月10日

斎藤喬「圓朝の幽霊、あるいは怪談話の粘着性について」(死を葬(おく)る—表象をめぐるホラーと喪の物語)表象文化論学会第2回大会、東京大学、2007年7月1日

阿部友紀「祈願対象の重層性について」日本民俗学会第59回年会、大谷大学、2007年10月7日

大道晴香「民俗宗教の歴史的動態-青森県八戸市の事例から-」印度学宗教学会第51回学術大会、宮城学院女子大学、2008年6月7日

栗田英彦「宗教集団にみる『医療的』実践—『信行会』の場合—」印度学宗教学会第51回学術大会、宮城学院女子大学、2008年6月7日

大蔵徳幸「木地屋の祖先観再考」印度学宗教学第 51 回学術大会、宮城学院女子大学、2008 年 6 月 8 日

落合明佳「ユングの「人間観」」印度学宗教学会第 51 回学術大会、宮城学院女子大学、2008 年 6 月 8 日

澤井治郎「ティリッヒにおける神学と宗教」印度学宗教学会第 51 回学術大会、宮城学院女子大学、2008 年 6 月 8 日

八重樫隆「宮沢賢治の生命観」印度学宗教学会第 51 回学術大会、宮城学院女子大学、2008 年 6 月 8 日

Sawai, Makoto, "Izutsu's Hermeneutical Perspectives of the Qur'anic Interpretation,"
International Conference on Contemporary Scholarship on Islam, in International
Islamic University Malaysia, August 5, 2008

大村哲夫「釈迦の悟り、祖師の悟り—語りえない宗教経験の継承—」日本宗教学会第 67 回学術大会、2008 年 9 月 14 日

佐藤慎太郎「M. エリアーデにおける人間観とその形成」日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大学、2008 年 9 月 14 日

小田島建己「いわゆる「死霊結婚」概念の再考—東北地方の事例を手懸りに—」
日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大学、2008 年 9 月 15 日

オリオン・クラウタウ「遺物となりゆく日本仏教—辻善之助における近代国家と僧侶批判—」日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大学、2008 年 9 月 15 日

相澤里沙「アニミズムと霊魂概念—インドネシアの民族誌にみる—」日本宗教学会第 66 回学術大会、立正大学、2007 年 9 月 17 日

Takizawa, Katsuhiko, "The Transformation of Family Rituals in Mongolia: One History of Religion in a Modern Nomad Society", Organized panel "The Religious Situation in Post-Socialist Mongolia", The 19th World Congress of the International Association for the History of Religions, Takanawa Prince Hotel, March 30, 2005

Takizawa, Katsuhiko, "Hegemony of "Religion" in Mongolia: A Comparison of Socialist and Post-Socialist Regimes", Society for East Asian Anthropology 2006 Conference, The Chinese University of Hong Kong, July 13, 2006

Takizawa, Katsuhiko, "Religious Discourses in the Transitional Period of Mongolia", Young Mongolists' European Workshop, Session 2, Songeons(Oise, France): Maison Familiale Rurale Centre D'Accueil Polyvalent, January 3, 2007

3 大学院生・学部生等の受賞状況

2005 年度 三島海運記念財団学術奨励賞 滝澤克彦 「モンゴルの家庭内祭祀における食物利用とその意味づけの変化に関する宗教人類学的研究」, 70 万円

2005 年度 東北開発記念財団海外派遣援助金 滝澤克彦 「社会主義とその後のモンゴル国における家庭内祭祀に関する実態調査」, 35 万円

2008 年度 (社) 全日本冠婚葬祭互助協会第 9 回社会貢献基金助成金 小田島建己「死者の結婚式 ―東北地方における「冥婚」習俗の比較研究―」, 99 万 8 千円

4 日本学術振興会研究員採択状況

2004 年度	PD	採用	1 人	(本研究室生の他研究機関への採用)
	DC	採用	1 人	(本研究室生の他研究室への採用)
2005 年度	PD	採用	1 人	(本研究室生の他研究機関への採用)
	DC	受入	1 人	(本研究室生の本研究室への採用)
2006 年度	DC	受入	1 人	(本研究室生の本研究室への受入)
2007 年度	PD	受入	1 人	(本研究室生の本研究室への受入)
	DC	受入	2 人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
2008 年度	RPD	採用	1 人	(本研究室生の他部局への採用)
	DC	受入	2 人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)

5 留学・留学生受け入れ

5- 1 大学院生・学部学生等の留学数

2004 年度	大学院生	0 人
2005 年度	大学院生	0 人
2006 年度	大学院生	0 人
2007 年度	大学院生	0 人
2008 年度	大学院生	0 人

5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
04	3	1	4
05	1	2	3
06	1	1	2
07	1	1	2
08	1	3	4
計	7	8	15

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
04	2	0	2
05	3	0	3
06	2	0	2
07	1	0	1
08	1	0	1
計	9	0	9

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

7-1 専攻分野出身の研究者

アンドリュース・デール：東北大学 助手 2005年度

加藤 寛：瑞鳳殿資料館 学芸員 2005年度

内館牧子：秋田経済法科大学 客員教授 2006年度

アンドリュース・デール：金沢大学 准教授 2007年度

諸岡了介：島根大学 講師 2008年度

7-2 専攻分野出身の高度職業人

高等学校教員 1名

8 客員研究員の受け入れ状況

国立インドネシア大学講師 Etty Nurhayati ANWAR 2006年7月3日～2007年
1月31日

9 外国人研究者の受け入れ状況

2004年	2人
2005年	1人
2006年	2人
2007年	2人
2008年	1人

10 刊行物

2005年	『東北宗教学』創刊号
2006年	『東北宗教学』第2号
2007年	『東北宗教学』第3号
2007年	『軍都仙台』（平成17・18年度宗教学実習報告書）
2008年	『東北宗教学』第4号

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2004年

印度学宗教学会事務局

2005年

印度学宗教学会事務局

国際シンポジウム「山と神—東アジアの視点から—」開催

2006年

印度学宗教学会事務局

日本宗教学会第65回学術大会開催

2007年

印度学宗教学会事務局

2008年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

12 専攻分野主催の研究会等活動状況

【2006年度】

第 74 回宗教学研究会：2006 年 11 月 13 日 東北大学

山口睦美（東北大学大学院環境科学研究科後期課程）「日本国兵士への
道程—従軍者と地域社会の関りを中心に—」

第 75 回宗教学研究会：2006 年 12 月 8 日 東北大学

ANWAR, Eti（国立インドネシア大学講師）「インドネシアにおけるムス
リムの信仰・生活・習慣」

第 76 回宗教学研究会：2006 年 12 月 22 日 東北大学

Zimpelmann Caitlin（アラスカ大学フェアバンクス校）「折衷的な旅—家
族の信仰から個人的な宗教観へ—」

【2007 年度】

第 77 回宗教学研究会：2007 年 6 月 29 日 東北大学

森謙二（茨城キリスト教大学）「戦没者慰霊—靖国・沖縄・その他」

第 78 回宗教学研究会：2008 年 1 月 16 日 東北大学

Gereon Kopf（ルーサー大学准教授）‘The Status of Religious Studies in the
U.S.A.’

第 79 回宗教学研究会：2008 年 1 月 28 日、東北大学。

小野和子（宮城民話の会）「長者原の民話調査から」

【2008 年度】

第 80 回宗教学研究会：2008 年 4 月 9 日 東北大学

Muhammad Haji Salleh（サインス大学教授）「Pantun の社会的機能」

第 81 回宗教学研究会：2008 年 5 月 30 日 東北大学

伊達聖伸（日本学術振興会特別研究員）「オーギュスト・コントの死者
崇拜—生者と死者の関係」

第 82 回宗教学研究会：2008 年 7 月 7 日 東北大学

佐藤千尋「何のための「ペット供養」か—判例にみる「ペット供養」の
宗教性—」

1 3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

05 年度の後期から講師採用が実現したため、本研究室のスタッフは、現在では教授
1・准教授 2・助教 1 の計 4 名で構成されている。教員組織拡充の背景には、在学生定
員が学部大学院の全ての学年において充足していることがある。この動向は 6、7 年前
から始まったことで、全学教育における授業の充実化やインターネットによる大学院教
育の紹介などが影響しているものと考えられる。

大学院における留学生受入も積極的に行っており、常に複数の外国人留学生が在籍している。また社会人大学院生の受入も積極的に推進しており、これもまた常に在籍している。このような傾向は7, 8年前からのことで、年齢・性別・国籍・宗教などはもちろん、卒業学部も多岐にわたる現在の研究室は、人間社会全体の縮図にも似たカオスの世界を現出しており、そのような多様性の中で過ごす研究生活は、構成員相互に良い刺激をもたらしているものと考えられる。

組織としての研究・教育活動のうち、まず教育面については、課程博士の授与が05年度に久々に行われた。この間もちろん博士後期課程に学生は在学していたが、フィールドワークやディシプリン横断的な研究においては、実質二年半で博士論文を書き上げることは非常に困難であった。しかしこの後、07年度中には3本の課程博士論文が提出され認められており、本年度も二年遅れ三年遅れの論文提出が予定されている。

大学院生の業績に変化が見られるようになったのは、04年度に東京で開催されたIAHR（国際宗教学宗教史会議）の第19回世界大会がきっかけであった。この時には博士前期の一部を含む博士後期全員が英語もしくはフランス語で口頭発表するよう指導したが、これによりそれまで構成員の多くが持っていた言葉の“壁”の克服に大きな効果があった。以後、論文執筆にせよ口頭発表にせよ、自己の研究内容を他者に如何に伝えるかを意識するようになり、論文発表総数そのものが増加している。その中にはレフリースの雑誌への投稿が増え、また口頭発表も英語を用いたものが増えてくるなど、研究領域におけるグローバリゼーションへの対応準備が進んでいる。その点で言うと、海外の大学への留学をする者が少ないのが気になるが、長期は少ないものの、三ヶ月未満の短期での調査研究は毎年複数あり、また学部学生の語学研修は毎年見られる。この点の積極的指導も、更に考えねばなるまい。

05年度以降、学振特別研究員のDC1に毎年新たな採用が見られ、PD、RPDを含め、毎年複数の学生が特別研究員となっている。この点は、本研究室の大学院生の実力があるレベルを越えていることを示す証左と思われる。

Ⅲ 教員の研究活動（2004 年度～2008 年度）

1 教員による論文発表等

1- 1 論文

鈴木岩弓「葬送と墓の全国調査(3)宗教意識」『寺門興隆』No.62, 興山舎, pp.91-99, 2004 年

鈴木岩弓「巫女の世界」赤坂憲雄・菊地和博編『東北学への招待』, 角川書店, pp.96-100, 2004 年

鈴木岩弓「老いと宗教」『生命—生老病死の宇宙—』（岩波講座 宗教 第7巻）, 岩波書店, pp.241-264, 2004 年

鈴木岩弓「『流行神』誕生にみる靈威の伝達」『現代のエスプリ（臨床の語用論 II）』456, 至文堂, pp.12-19, 2005 年

鈴木岩弓「民俗仏教にみる『死者』への祈り—遺影を手がかりに—」『日本佛教學會年報』第70号, 日本佛教學會, pp.235-248, 2005 年

鈴木岩弓「現代モンゴルにおける宗教意識」『モンゴル草原の環境変動と遊牧生産の関係に関する研究』（科研費研究成果報告書:基盤研究(A)）, 東北大学, pp.129-149, 2006 年

鈴木岩弓「葬送習俗」『原町市史』第9巻 特別編II[民俗], 南相馬市, pp.348-376, 2006 年

鈴木岩弓「恐山信仰」「下北地方の巫俗」『青森県史』青森県, pp.320-327, pp.335-338, 2007 年

鈴木岩弓「現代モンゴルにおける宗教意識」『モンゴルの環境と変容する社会』（東北アジア研究センター叢書第27号）東北大学東北アジア研究センター, pp.149-169, 2007 年

鈴木岩弓「霊場恐山の“地獄”—佛教在日本伝播的一个側面—」『2007 中国靖江宝卷文化国際学術研討会会務手冊』pp.57-69, 2007 年

鈴木岩弓「山と神」『登山医学』27, 日本登山医学会, pp.7-11, 2007 年

鈴木岩弓「『中央公論』にみる『死』の扱いの変化」『論集』, 印度学宗教学会, pp.(79)-(98), 2007 年

鈴木岩弓「民間宗教者その他」『岩木川流域の民俗』（青森県史叢書）, 青森県, pp.165-167, pp.169-170, 2008 年

木村敏明「『文脈化された教会』から『エスニック・チャーチ』へ—東南アジア都市社会におけるキリスト教会の動向に関する一考察—」『東北大学文学研

- 究科学研究年報』第54号, 2005年
- 木村敏明「祈りの中の祖先と親族 —インドネシア・メダン市トバ・バタック移民社会における祈祷会」『東北宗教学』vol.1, 2005年
- 木村敏明「夏泊半島における『漂着神』信仰 —その基盤と変遷—」, 『半島空間における民俗宗教の動態に関する調査研究』科学研究費補助金研究成果報告書, 2006年
- 木村敏明「キリスト教口頭表現に見る『死』—トバ・バタック移民社会の事例—」, 『東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究』科学研究費補助金研究成果報告書, 2007年
- 木村敏明「トバ・バタック移民社会におけるキリスト教的口頭表現と儀礼」, 『東北宗教学』vol.2, 2007年
- 木村敏明「東南アジアにおけるキリスト教口頭表現と聖典—トバ・バタック社会の事例」, 『論集』34号, pp.(117)-(132), 2007年
- 山田仁史「民族間の交易品としての塩：近現代台湾の事例から」小泉潤二／栗本英世（編）『トランスナショナリティ研究 境界の生産性』:201-210. 豊中：大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文科学」, 2004年
- 山田仁史「カンディンスキーにおけるプリミティヴィズムと民族学」『GENESIS：京都造形芸術大学紀要』8:206-211, 2004年
- 山田仁史「東南アジア・オセアニアにおける死の起源の神話：《バナナ型》と《脱皮型》の分布をめぐる諸問題」松村一男（編）『生と死の神話学』:113-129. 東京：リトン, 2004年
- 山田仁史「台湾原住民の地震についての諸観念」『台湾與日本及其周邊區域的地理歴史與文化：第八届台湾地理學術研討會・第三十三届南島史學國際研討會論文集』:F5.1-20, 2004年
- 山田仁史「台湾原住民の地震についての諸観念」『南島史学』65-66: 61-72, 2005年
- 山田仁史「聖ニコラウスと仮面異装の従者たち：オーストリア共和国バート・ミッテルンドルフ村の民衆劇」『東北宗教学』1: 24-61, 2005年
- 山田仁史「南と北の小人伝承」『台湾原住民研究』10: 3-37, 2006年
- 山田仁史「台湾原住民における命名、連名制と死者への態度：サイシヤット族の事例から」葉春榮編『歴史・文化與族群：台湾原住民國際研討會論文集』259-295. 台北：順益台湾原住民博物館, 2006年
- 山田仁史「発火法と火の起源神話」『東北宗教学』2: 183-200, 2006年

山田仁史「奥羽人類学会と東北の信仰・民俗」『東北文化研究室紀要』48: 41-56,
2007年

山田仁史「東南アジアにおける〈首狩文化複合〉」中村生雄研究代表者『東アジアにおける人と自然の対抗／親和の諸関係にかんする宗教民俗学的研究』平成16年度-平成18年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書: 107-162, 2007年

山田仁史「神話から見たヒトの起源と終末」野家啓一編『ヒトと人のあいだ』（シリーズヒトの科学6）35-62. 岩波書店, 2007年

山田仁史「台湾原住民神話研究綜述」『中国比較文学』2007年第4期（総第69期）: 60-69, 2007年

山田仁史「金の枝を手折りて—フレイザーが遺したもの—」『論集』第34号, 印度学宗教学会, pp.(213)-(237), 2007年

Yamada, Hitoshi, "Chain of Arrows" reconsidered. In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythes, symboles, langues*: 93–102, Nagoya: Librairie Rakuro, 2008

山田仁史「台湾原住民における首狩」『アジア民族文化研究』7: 1-101, 2008年

山田仁史「台湾原住民における星の観念と神話」篠田知和基（編）『星空のロマンス：比較神話学シンポジウム』: 114-123, 甲南大学, 2008年

滝澤克彦「社会主義と宗教の記憶—モンゴルにおける家庭内祭祀の持続と変容を中心に—」『国立民族学博物館調査報告』、国立民族学博物館、印刷中、2008年

1-2 著書・編著

鈴木岩弓編著『死者と追悼をめぐる意識変化—葬送と墓についての統合的研究—』（科研費研究成果報告書：基盤研究（A）（1）），東北大学, pp.323, 2005年

鈴木岩弓編著『東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究』（科研費研究成果報告書：基盤研究（C）（1）），東北大学, pp.323, 2007年

鈴木岩弓編著『船形山の民俗—吉田潤之介採訪資料—』（東北文化資料叢書第三集），東北大学大学院文学研究科東北文化研究室, pp.286, 2008

Такизава Кацүхико, Пост-социализмын үе дэхь “шашин” ба Монгол, *Монгол дахь Шашны Судалгааний Өнөөгийн Нөхцөл Байдал*, Ulaanbaatar: Mongolian State University of Education, 2008

1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

- 鈴木岩弓（辞典項目）「イニシエーション」「ケガレ」「シャマニズム」「墓」
『別冊 國文學 宗教のキーワード集』，學燈社，2004年
- 鈴木岩弓「墓の語る<現代の死>」（対談：井上治代）『現代宗教 2004』，国際
宗教研究所，pp.115～152，2004年
- 鈴木岩弓（辞典項目）「家墓」「合葬墓」『民俗小辞典 死と葬送』，吉川弘文
館，2005年
- 鈴木岩弓「問題提起（東北文化講演会 国際シンポジウム：山と神—東アジアの
視点から—）」『東北文化研究室紀要』第47集，東北大学，pp.34-40，2006
年
- 鈴木岩弓「摩文仁の丘にみる戦死者への関わり」『宗教研究』第79巻第4輯，日
本宗教学会，pp.135-136，2006年
- 鈴木岩弓「墓が語る死生観」『まなびの杜』編集委員会編『まなびの杜—<東北
大学>知的探検のススメ Vol. II』，東北大学，pp.54～55，2006年
- 鈴木岩弓（書評）高松敬吉『民間巫女の系譜』（『うそり』43号別冊），『東奥
日報』2007.7.23
- 鈴木岩弓（書評）本林靖久『ブータンと幸福論』，『宗教民俗学研究』第17号，
pp.153～157，2007年
- 鈴木岩弓（辞典項目）『神觀念の比較文化論的研究』『宗教学文献事典』
- 鈴木岩弓（書評）宮家 準『神道と修験道』（『山岳修験学会』）2007年
- 木村敏明「『死生観』をフィールドワークする」中村捷編『人文科学ハンドブック』，東北大学出版会，2005年
- 木村敏明「東南アジアの食と祭り」千草眞一編『食に見る世界の文化』，東北大
学出版会，2007年
- 山田仁史「アメリカ・オセアニア・アフリカ編」松村一男（編）『世界の神々の
事典』（エソテリカ事典シリーズ；5）：245-260. 東京：学習研究社，2004
年
- 山田仁史「人類学からみた王と王権」鶴見俊輔（編）『天皇：近代化のなかの王
権』（週刊朝日百科日本の歴史 新訂増補版；100）：292. 東京：朝日新聞社，
2004年
- 山田仁史「イェンゼン、アードルフ『殺された女神』」「古野清人『原始宗教の
構造と機能』」「Eberhard, Wolfram, Kultur und Siedlung der Randvoelker Chinas」

- 「エバーハルト、ヴォルフラム『古代中国の地方文化』」「大林太良『北の神々 南の英雄』」「大林太良『銀河の道 虹の架け橋』」「グラネ、マルセル『中国人の宗教』」以上、小松和彦／田中雅一／谷泰／原毅彦／渡部公三（編）『文化人類学文献事典』東京：弘文堂所収，2004年
- 山田仁史「台湾・琉球研究50年を語る：金子えりか先生インタビュー」角南聡一郎／山田仁史（聞き手），『台湾原住民研究』9: 155-188, 2005
- 山田仁史（訳）陶思炎「石敢当と山神信仰」，鈴木岩弓（編）『東北文化講演会国際シンポジウム「山と神：東アジアの視点から」資料集』：44-52. 仙台：東北大学大学院文学研究科 東北文化研究室，2005年
- 山田仁史（訳）陶思炎「中国民俗学の現状と課題」『東北民俗』40: 85-90, 2006年
- 山田仁史「中国民俗学史略年表」『東北民俗』40: 90-92, 2006年
- 山田仁史（通訳）陶思炎「石敢当と山神信仰」『東北文化研究室紀要』47: 79-83 仙台：東北大学文学研究科 東北文化研究室，2006年
- 山田仁史「沖縄と台湾先住民の神話：土中の始祖で共通」沖縄海人文化の系譜・中、『琉球新報』平成18年9月27日付，2006年
- 山田仁史「発火法と火の起源神話」『天理参考館報』19: 46-50, 天理大学附属天理参考館，2006年
- 山田仁史「台湾に蛇神判はあったか」『台湾原住民研究』11: 229-234, 2007年
- 山田仁史「歴史的関係か独立発生か：似た神話の説明原理をめぐる諸問題」『宗教研究』80(4): 99-100, 2007年
- 山田仁史（書評）「広い射程で自然と人間の関係を問う 中村生雄・三浦佑之・赤坂憲雄編『狩猟と供犠の文化誌』」『季刊東北学』13: 208-210, 2007年
- 山田仁史「大林太良の仕事：著作の森を歩く」『ビオストーリー』8: 72-81, 昭和堂, 2007年
- 山田仁史「宇野圓空『マライシアに於ける稲米儀礼』」島菌進／石井研士／下田正弘／深澤英隆（編）『宗教学文献事典』:66, 弘文堂，2007年
- 山田仁史（書評：松村一男・山中弘編『神話と現代』）「多様な物語を神話として考察：現代社会における「神話」の可能性」『週刊読書人』2726号（2008年2月22日号）：3, 2008年
- 山田仁史「宗教民族学における神話研究の位置」『宗教研究』81(4): 177-178, 2008年
- 山田仁史（訳）フルトクランツ、オーケ「シャマニズムの研究史」岩田美喜／竹

内拓史（編）『ポストコロニアル批評の諸相』：165-200，東北大学出版会，
2008年

山田仁史（訳）陶思炎「中国湖北省荊州市にて「河童犬」に似た石刻物を発見」
『東北民俗』42: 92，2008年

1-4 口頭発表

鈴木岩弓「民俗仏教にみる『死者』への祈り」2004年度日本佛教学会学術大会，
龍谷大学，2004年9月17日

鈴木岩弓「The Past and Present of Mourning and the Dead in Japan」XIXth World
Congress of the International Association for the History of Religions，2005年3
月26日

鈴木岩弓「The National War Memorial in Okinawa」，Symposium: The Past and Present
of Mourning and the Dead in Japan，XIXth World Congress of the International
Association for the History of Religions，2005年3月26日

鈴木岩弓 2005.06.28「フィールドからみた『信仰』概念」印度学宗教学会第48回
学術大会，東北大学，2005年6月28日

鈴木岩弓 2005.08.10-13「現代日本の七夕と観光」2005 中国周荘七夕文化研討会
(International Qixi Cultural Seminar 2005 Zhouhuang China)，周荘，2005年8
月10-13日

鈴木岩弓 2005.09.10「摩文仁の丘にみる戦死者との関わり」日本宗教学会第64回
学術大会パネル発表「死者の祭祀と供養—集団性と個人性の葛藤と共存—」，
関西大学，2005年9月10日

鈴木岩弓「飾られた人物写真」日本民俗学会第57回年会，東京大学，2005年10
月9日

鈴木岩弓「地域社会における伝統的宗教習俗と新旧宗教——宮城県仙台市泉区お
よびその周辺の多角的フィールド調査から」コメンテーター「宗教と社会」
学会，2006年6月4日

鈴木岩弓「山と神」第27回登山医学会特別講演講師，宮城蔵王ロイヤルホテル，
2007年6月2日

鈴木岩弓「霊場恐山にみる『地獄』—日本における仏教受容の一側面—」2007中
国靖江宝卷文化国際学術研討会，中国江蘇省靖江市2007年8月25日

鈴木岩弓「『もの言う』死者」日本宗教学会第66回学術大会パネル発表「死と死
者の表象」，立正大学，2007年9月16日

- 鈴木岩弓「東アジアにおける『民間信仰』概念の展開」東アジア宗教文化学会第一回大会，東義大学校（韓国），2008年8月2日
- 鈴木岩弓「死者をカミと祀る習俗の展開」日本宗教学会第67回学術大会，筑波大学，2008年9月15日
- 鈴木岩弓「東北地方における『骨葬』の受容」日本民俗学会第60回年会，熊本大学，2008年10月5日
- 木村敏明「バタック移民社会における祈祷会の機能」，第47回印度学宗教学会，高野山大，2004年
- 木村敏明「『さずかった』カミガミ—青森県夏泊半島におけるオシラサマとリュウジン」，東北民俗の会12月例会，仙台，2004年
- 木村敏明“Christian Practice in Local Context –Toba Bataks Prayer Meetings in Medan, Indonesia,”19th World Congress of the International Association for the History of Religions, 東京，2005年
- 木村敏明「トバ・バタックの儀礼的スピーチとキリスト教的祈り」，第48回印度学宗教学会，東北大学，2005年
- 木村敏明「キリスト教的実践の地域的受容」，第64回日本宗教学会，関西大，2005年
- 木村敏明“Social Aspects of Christian Oral Practices –Kingship, Ritual and Christianity among Toba Batak Immigrants in Medan, Sumatra,” Harvard Yenching Institute Asian Cultures Seminar, Harvard University, 2007年
- 木村敏明“Christian Prayer Practice in Indonesian Urban Context –Toward an anthropology of Christianity,”Harvard Divinity School Center for the study of World Religions, World Religions Café Series, Harvard University, 2007年
- 木村敏明 “Kinship, Ritual and Christianity-A Case Study of Grass Roots Prayer Groups of Toba Batak immigrants in Medan, Sumatra,” Harvard Yenching Institute End-of-year Seminar “Religion, Popular Culture and Social Changes in Asia,”Harvard University, 2007年
- 木村敏明「祈りと記憶—トバ・バタック移民社会におけるキリスト教と慣習法」、第66回日本宗教学会，立正大，2007年
- 木村敏明「『宣教師伝』の成立と現地社会—スマトラ宣教の事例より—」第67回日本宗教学会，筑波大，2008年
- 山田仁史「オーストロネシア語族の女人島伝承と大魚」海洋神話シンポジウム《海の怪物》，京田辺：同志社女子大学京田辺キャンパス，2004年

- 山田仁史「台湾原住民族の口承文学：海にかかわる神話を中心に」日本台湾学会第6回学術大会，東京：東京大学，2004年
- 山田仁史「神話における塩、交易品としての塩：台湾のオーストロネシア系諸民族を中心に」日本文化人類学会第38回研究大会，東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，2004年
- 山田仁史「台湾原住民の地震についての諸観念」第八屆台灣地理學術研討會・第三十三屆南島史學國際研討會，台北：國立台灣師範大學綜合大樓國際會議廳，2004年
- 山田仁史「台湾原住民の地震についての諸観念」第6回風土と日本文化研究会，京都：京都造形芸術大学，2004年
- 山田仁史「台湾原住民における《血の儀礼》：人身供犠・食人・首狩」供犠論科研究会，東京：学習院大学，2005年
- 山田仁史「有關台灣原住民的記述」一百年前的台灣：『台風雜記』學術交流會，台北：中央研究院民族學研究所，2005年
- 山田仁史「発火法と火の起源神話」教祖百二十年祭特別展「火のめぐみ」開催記念シンポジウム「火と神話の世界」天理：天理大学附属天理参考館，2006年
- 山田仁史“Mythology of the Taiwan Aborigines: the State of the Art” Harvard & Peking University International Conference on Comparative Mythology, Beijing: Peking University, 2006年
- 山田仁史「内なる民俗社会 外なる未開社会：西欧と日本における人類諸科学の成立」平成17年度 東北大学若手研究者萌芽研究育成プログラム採択課題「ポストコロニアリズムのテクストにおけるアイデンティティ表象の比較文化史的研究」第6回定例研究会，仙台：東北大学大学院文学研究科，2006年
- 山田仁史「台湾原住民の神話：文化史の視点から」台湾 YAMI 文化研究フォーラム 研究会，横浜：慶應義塾日吉校舎，2006年
- 山田仁史「台灣原住民的神話與其意義」台灣歷史與文化國際會議，台北：國家圖書館，2006年
- 山田仁史「南と北の小人伝承」第49回印度学宗教学会学術大会，東京：大正大学，2006年
- 山田仁史「台湾プユマ族の猿祭 調査概要報告」供犠論科研究会，東京：学習院大学，2006年
- 山田仁史「歴史的関係か独立発生か：似た神話の説明原理をめぐる諸問題」日本

- 宗教学会第 65 回学術大会, 仙台 : 東北大学, 2006 年
- 山田仁史「奥羽人類学会と東北の信仰・民俗」東北文化公開シンポジウム「東北像再考：地域へのまなざし、地域からのまなざし」, 仙台 : 東北大学, 2006 年
- 山田仁史「台湾原住民における首狩」アジア民族文化学会第 13 回春季大会, 東京 : 共立女子大学・短期大学, 2007 年
- 山田仁史「東南アジアにおける首狩」第 50 回印度学宗教学会学術大会, 吹田 : 関西大学, 2007 年
- 山田仁史「Mythical little people in Taiwan: Do they imply the existence of Negritos?」DHS: Conference on the Deep History of Stories, The joint conference of The International Association for Comparative Mythology and The Traditional Cosmology Society. Edinburgh: The University of Edinburgh, 2007
- 山田仁史「“Chain of Arrows” reconsidered」Le voyage vers le ciel: International Symposium in Comparative Mythology. Kyoto: Hanazono University, 2007
- 山田仁史「宗教民族学における神話研究の位置」日本宗教学会第 66 回学術大会, 東京 : 立正大学, 2007 年
- 山田仁史「台湾原住民における首狩の諸相」日本文化人類学会第 42 回研究大会, 京都 : 京都大学, 2008 年
- 山田仁史「神話研究の可能性」第 51 回印度学宗教学会学術大会, 仙台 : 宮城学院女子大学, 2008 年
- 山田仁史「台湾原住民の神話と首狩」第 2 回仙台台湾研究会, 仙台 : 東北大学, 2008 年
- 滝澤克彦「社会主義と宗教の記憶—モンゴルにおける家庭内祭祀の持続と変容を中心に—」『国立民族学博物館調査報告』、国立民族学博物館、2008 年
- 滝澤克彦「現代モンゴルの福音派教会における祈りのかたち」日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大学、2008 年 9 月 15 日

2 教員の受賞歴 (2004 年度～2008 年度)

なし

IV 教員による競争的資金獲得（2004年度～2008年度）

（1）科学研究費補助金

2004年度

科学研究費補助金 基盤研究（A）（1）鈴木岩弓（研究代表者）「死者と追悼をめぐる意識変化」，6,890千円

科学研究費補助金 基盤研究（A）（2）鈴木岩弓（研究分担者）「モンゴル草原の環境変動と遊牧生産の関係に関する研究」，8,700千円

科学研究費補助金 基盤研究（C）（2）鈴木岩弓（研究分担者）「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」，1,300千円

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究代表者）「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」，1,300千円

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究分担者）「半島空間における民俗宗教の動態に関する調査研究」，900千円

科学研究費補助金 特別研究員奨励費 滝澤克彦（研究代表者）「モンゴル遊牧民の定住化に伴う階層分化—新たに形成された宗教的共同体を手がかりに一」，90万円

2005年度

科学研究費補助金 基盤研究（C）（2）鈴木岩弓（研究分担者）「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」，1,000千円

科学研究費補助金 基盤研究（A）（2）鈴木岩弓（研究分担者）「モンゴル草原の環境変動と遊牧生産の関係に関する研究」

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究代表者）「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」，1,000千円

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究分担者）「半島空間における民俗宗教の動態に関する調査研究」，1,200千円

科学研究費補助金 特別研究員奨励費 滝澤克彦（研究代表者）「モンゴル遊牧民の定住化に伴う階層分化—新たに形成された宗教的共同体を手がかりに一」，50万円

東北大学若手研究者萌芽研究育成プログラム 諸岡了介「医療現場との対話による「臨床死生学」の創生——地域の自然と文化に支えられた「死」の意

味」

2006 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」, 1,200 千円

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究分担者) 「東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究」, 1,200 千円

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおける人と自然の対抗／親和の諸関係にかんする宗教民俗学的的研究」

(2) その他

2005 年度 総長裁量経費「東北地方における地域研究情報活用拠点の形成鈴木岩弓 (研究代表者)

研究科長裁量経費「山と神」鈴木岩弓 (代表)

2006 年度 研究科長裁量経費「東北像再考：地域へのまなざし、地域からのまなざし」鈴木岩弓 (代表)

2007 年度 研究科長裁量経費「ゴミの文化学」鈴木岩弓 (代表)

2008 年度 研究科長裁量経費「いま、方言が面白い！」鈴木岩弓 (代表)

V 教員による社会貢献 (2004 年度～2008 年度)

【鈴木岩弓】

<委員>

- ・青森県史編さん調査研究員
- ・福島県原町市市史編さん委員
- ・仙台市市民文化事業団理事
- ・相馬市史編さん委員

<公開講座等の講師>

2004 年 8 月 5 日「東北の稻荷信仰」全国稻荷会講演

2005 年 2 月 25 日「少子高齢化時代の死生観」東北経営者協会「会長副会長会議」講演

2006 年 2 月 10 日「葬送・墓・遺影—生者と死者の新たな関係—」東北大学 100 周年記念セミナー講師

2005年9月17日「宗教習俗からみた東北地方の地域性」みやぎ県民大学
講師

2005年10月17日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師

2006年11月16日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師

2007年2月6日「群の葬儀から個の葬儀へ」, NHK文化センター講師

2007年2月13日「墓が語る現代」, NHK文化センター講師

2007年2月20日「あの世からの眼差し—死者の写真を飾る習俗—」, NHK
文化センター講師

2007年6月11日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師

2008年4月25日「文学部で学ぶとは」出前授業講師, 泉館山高校

2008年8月30日「祈りの風景—大和町の民間信仰—」第四
回郷土史講座講師

2008年9月5日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師

【木村敏明】

<公開講座等の講師>

鏡としての異文化・宗教、集中出張講義（泉館山高校）、2006年
東南アジアの食と祭、有備館講座、2006年

わたしたちと宗教、オープンキャンパス公開講義、2008年

【山田仁史】

<公開講座等の講師>

「口承文芸とその研究法」

宮城県宮城野高等学校フロンティア・タイム, 2007年8月2日

「伊能嘉矩：『遠野物語』の先駆者」

東北大学文学部有備館講座, 2008年2月18日

VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2004年度～2008年度）

【鈴木岩弓】

日本宗教学会常務理事（2004年～現在）

日本宗教学会庶務委員（2004年～2005年）

日本宗教学会情報化委員会委員（2008年～現在）

印度学宗教学会会長（2006年～2008年）

印度学宗教学会常任理事（2004年～現在）

第19回国際宗教学宗教史会議世界大会実行委員会委員（2004年～2005年）

第 19 回国際宗教学宗教史会議世界大会組織委員会委員 (2004 年～2005 年)

東北民俗の会会長 (2004 年～現在)

「宗教と社会」学会常任委員 (2005 年～2007 年)

「宗教と社会」学会編集委員 (2007 年～現在)

日本民俗学会評議員 (2004 年～現在)

【木村敏明】

日本宗教学会評議員 (2007 年～現在)

印度学宗教学会常任理事 (2003 年～現在)

【山田仁史】

日本宗教学会第 65 回学術大会実行委員 (2006 年)

印度学宗教学会 評議員(2006 年～現在) , 常任理事 (2008 年～現在)

東北民俗の会 常任委員(2008 年～現在)

VII 教員の教育活動 (2008 年度)

(1) 学内授業担当

1 大学院授業担当

鈴木岩弓

宗教学特論 I

宗教学実習 I ・ II

宗教学課題研究

木村敏明

宗教人類学特論

宗教学課題研究

宗教学実習

宗教学研究演習

宗教学研究演習

宗教学課題研究

山田仁史

宗教人類学特論

宗教学課題研究

2 学部授業担当

鈴木岩弓

宗教学概論
宗教学各論
宗教学基礎講読
宗教学基礎演習
宗教学演習
宗教学基礎実習
宗教学実習
英語原書講読

木村敏明

宗教学概論
宗教人類学各論
宗教学基礎実習
宗教学実習
宗教学基礎演習
宗教学演習
英語原書講読

山田仁史

宗教人類学各論
宗教学講読
宗教科教育法
宗教学実習・基礎実習
宗教学演習・基礎演習
英語原書講読

3 共通科目・全学科目授業担当

鈴木岩弓

宗教学

木村敏明

キリスト教史
人文社会序論

人文社会総論

英語原書講読入門

総合科目世界の食と文化

山田仁史

宗教学

(2) 他大学への出講 (2004～2008 年度)

鈴木岩弓

宮城学院女子大学 (2004～2007 年度)

北海道大学大学院文学研究科・文学部 (2004 年度)

国立インドネシア大学大学院学部 (2007 年度)

東北学院大学大学院 (2008 年度)

木村敏明

宮城学院女子大学 (2004～2008 年度)